

平成 22 年度京都市高齢者福祉関連予算の概要等について

1 高齢者福祉関連予算の規模

(単位：千円)

一般会計（当初予算）	平成 21 年度	平成 22 年度	差引	伸び率
高齢者福祉対策	39,098,098	40,364,892	1,266,794	3.2%

(単位：千円)

特別会計（当初予算）	平成 21 年度	平成 22 年度	差引	伸び率
介護保険事業	91,947,000	94,807,000	2,860,000	3.1%
老人保健	51,000	28,000	△23,000	△54.9%
後期高齢者医療	15,536,000	15,620,000	84,000	0.5%

2 プランに掲げた施策・事業項目に係る主な予算措置（新規・充実項目等）

(1) 重点課題 1：認知症をはじめとする要援護高齢者及びその家族の生活支援

<取組方針>

要援護高齢者及びその家族の自立した生活を支援するため、地域の特性を踏まえて、ニーズに対応した介護サービスを量と質の面から確保するとともに、在宅生活を総合的に支援するという観点から、介護保険以外の保健福祉サービスについても引き続き充実に努めます。また、療養病床の再編成への対応についても、医療・介護の必要な方に、適切なサービスが提供できるよう取り組んでいきます。

また、認知症高齢者が住み慣れた地域で可能な限り在宅生活を継続できるよう、認知症についての正しい理解の普及、原因となる疾患の予防、早期発見、治療、相談体制の充実、認知症高齢者を介護する家族への支援、高齢者虐待防止をはじめとした高齢者の権利擁護対策等多様な側面から取組を進めます。

事業名等	内容
特別養護老人ホーム整備 助成・開設準備経費助成 【新規含む】 <1,030,700 千円>	特別養護老人ホーム及び小規模特別養護老人ホームを整備し、日常生活で常に介護が必要で、在宅で生活することが困難な方に、日常生活の介護、健康管理などを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「健光園」【新規：移転改築】 定員 40 人⇒100 人（増床 60 人）、短期 20 人 場所 右京区嵯峨柳田町 ○ 「嵐山寮」【新規：移転改築】 定員 50 人⇒110 人（増床 60 人）、短期 10 人 場所 右京区太秦前ノ田町 ○ 「日野しみずの里（仮称）」【新規：創設】 定員 110 人、短期 10 人 場所 伏見区日野田頼町

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「原谷こぶしの里」【新規：増床】 定員 90 人⇒100 人（増床 10 人） 場所 北区大北山長谷町 ○ 「サテライト西の京（仮称）」【新規：創設】 定員 20 人（認知症高齢者グループホーム併設） 場所 中京区西ノ京小堀池町 ○ 「広沢（仮称）」【新規：創設】 定員 29 人（小規模多機能型居宅介護拠点併設） 場所 右京区嵯峨広沢南野町 （※開設準備経費の助成のみ） ○ 「第二洛東園（仮称）」【継続：創設】 定員 63 人，短期 9 人 場所 東山区上新シ町
<p>介護老人保健施設開設準備経費助成【新規】 ＜17,400 千円＞</p>	<p>サテライト型の小規模介護老人保健施設を整備し，在宅生活への復帰を目指す要介護高齢者等に対し，医学的管理の下で介護，看護，機能訓練等のサービスを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「mamukoa-re」【新規：創設】 定員 29 人 場所 南区唐橋羅城門町 （※開設準備経費の助成のみ）
<p>特別養護老人ホーム・ユニット化等改修助成【新規】 ＜40,000 千円＞</p>	<p>既存の従来型特別養護老人ホームにおいて，利用者のその人らしい生活の尊重と継続を目指し，サービス内容の向上を図るため，個室ユニット化又は準個室化改修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「同和園」【新規】 定員 100 人分の準個室化（個室風しつらえ）改修 ○ 「原谷こぶしの里」【新規】 定員 10 人分の個室ユニット化改修
<p>高齢者・障害者あんしん権利擁護推進事業（仮称）【新規含む】 ＜14,122 千円＞</p>	<p>権利擁護に関わる関係行政機関及び民間団体等で構成する京都市高齢者・障害者権利擁護ネットワーク運営会議を運営する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者・障害者あんしん権利擁護推進事業（仮称）【新規】 高齢者・障害者の権利擁護に関する取組として，成年後見制度の利用促進に係る制度周知を図るとともに，利用促進等の普及啓発を目的としたパネルディスカッションや，福祉施設等職員の資質向上のための研修会等を開催する。
<p>配食サービス事業【充実】 ＜177,506 千円＞</p>	<p>配食サービスのニーズが高いことを踏まえ，援護を必要とする 60 歳～64 歳の一人暮らし高齢者についても新たに配食サービスの対象者とすることにより，事業の充実を図る。</p>

(2) 重点課題 2 : 総合的な介護予防の推進

<取組方針>

高齢者が要介護状態になることを可能な限り予防するとともに、要介護状態になっても状態が悪化しないよう維持・改善を図るため、より一層の介護予防に関する知識・情報の普及と啓発に努めます。

また、地域包括支援センターを中心とした介護予防ケアマネジメントの体制を充実するとともに、介護予防事業対象者の把握や、対象者が個々の状況に応じて日常生活の中で自ら取り組めるようなサービス提供を行うなど、介護予防を総合的に推進します。

事業名等	内 容
<p>地域介護予防推進事業 【新規含む】 <364,863千円> (介護予防安心住まい推進事業) <別掲2,000千円></p>	<p>介護予防に関して地域全体が関心を持ち合えるようなコミュニティを形成していくため、様々な機会を捉えて介護予防の普及・啓発に努めるとともに、特定高齢者向けの介護予防サービスをより魅力的なものとするため、特定高齢者を対象とした住宅のバリアフリー改修に係る助成を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 介護予防普及・啓発事業【充実】 各区地域介護予防推進センターによる介護予防教室や健康すこやか学級による取組に加え、市民しんぶんの活用や、敬老乗車証申請の案内送付時に介護予防普及啓発チラシを同封するなど、一層の情報発信を行う。 ○ 介護予防安心住まい推進事業【新規】 住み慣れた住宅での生活機能の維持・向上及び転倒等による事故防止を図るため、特定高齢者を対象とした住宅のバリアフリー改修に係る助成を実施する。
<p>地域包括支援センター運営事業【充実】 <1,084,588千円> 地域包括支援センター地域連携支援事業【継続】 <139,300千円></p>	<p>地域包括ケアを支える中核機関であり、また地域住民のニーズに適切に対応する「ワンストップサービス」の拠点である地域包括支援センターについて、職員体制の一層の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域包括支援センター職員体制の充実【充実】 平成21年度緊急雇用創出事業の活用による「地域包括支援センター地域連携支援事業」を平成22年度も引き続き実施し、各センター1名の事務職員を配置するとともに、新たな専門職種の配置基準を設定し、職員体制の充実を図る。

(3) 重点課題 3 : 健康増進・生きがいつくりの推進

<取組方針>

市民が、家庭や地域において、心身ともに健やかに高齢期を過ごせるよう、生涯を通じた健康づくりの支援や情報発信を進めます。

また、高齢者が知識や経験、特技等を生かしながら、意欲や関心をもって社会活動に参加し、生きがいを感じることができるよう、地域の資源を活用した多様な活動の場づくりや環境整備、情報提供等を充実していきます。

事業名等	内容
老人クラブ補助等事業 【充実】 <82,751千円>	平成21年6月の国実施要綱改正により、単位老人クラブの最低構成人員数が50人から30人に引き下げられたことを踏まえ、少人数の老人クラブに対する補助を創設するとともに、老人クラブ活動が地域全体の活動へ広げられるよう、大規模の老人クラブに対する補助を増額する。

(4) 重点課題 4 : 地域における総合的・継続的な支援体制の整備

<取組方針>

認知症高齢者やひとり暮らし高齢者等が増加する中、住み慣れた地域での生活の継続を支援するため、地域密着型サービスの普及・啓発と基盤整備の更なる推進等により、日常生活圏域を基本としたサービス提供体制の整備を図ります。

また、各種サービス提供機関、地域住民による自主的な活動等との連携を図り、地域全体で高齢者を見守り支えるためのネットワークづくりを進めます。

事業名等	内容
小規模多機能型居宅介護拠点整備助成・開設準備経費助成【新規】 <32,900千円>	小規模多機能型居宅介護拠点を整備し、利用者の心身の状態や希望等に応じて、「通い」を中心に「訪問」や「泊まり」を柔軟に組み合わせたサービスを提供する。 ○ 「山ノ内（仮称）」【新規】 場所 右京区山ノ内宮前町 ○ 「広沢（仮称）」【新規】（小規模特別養護老人ホーム併設） 場所 右京区嵯峨広沢南野町 ※ 開設準備経費の助成のみ
認知症高齢者グループホーム整備助成・開設準備経費助成【新規】 <42,500千円>	認知症高齢者グループホームを整備し、認知症高齢者が家庭的な雰囲気の中で共同生活を送りながら安心して生活できるサービスを提供する。 ○ 「西の京（仮称）」【新規】 定員 9人（小規模特別養護老人ホーム併設） 場所 右京区西ノ京小堀池町

	<p>○ 「常磐野（仮称）」【新規】</p> <p>定員 18人</p> <p>場所 右京区常盤柏ノ木町</p> <p>(※開設準備経費の助成のみ)</p>
<p>老人福祉員設置事業</p> <p>【充実】</p> <p><31,734千円></p>	<p>老人福祉員による訪問対象となる一人暮らし高齢者が増加していることを踏まえ、民生・児童委員、一人暮らし高齢者見守りサポーター、地域包括支援センター等との関係団体との一層の連携強化が必要であるため、老人福祉員の委嘱定数を増員し、地域における一人暮らし高齢者を支援するネットワークを構築する。</p> <p><定員数></p> <p>現在：1,214人⇒平成22年度～：1,314人（100人増員）</p>

(5) 重点課題5：介護保険事業の適正かつ円滑な運営

<p><取組方針></p> <p>介護保険事業を適正かつ円滑に運営していくため、関係団体等との連携の下、ケアマネジメントや介護サービスの質の向上に取り組むとともに、保険給付の適正化を図ります。</p> <p>また、介護分野における人材不足等を改善していくため、安定的な人材の確保及び育成する仕組みづくりに努めます。</p>

事業名等	内容
<p>高齢社会対策実態調査</p> <p>【新規】</p> <p><9,000千円></p>	<p>本市における今後の総合的な高齢社会対策施策の推進及び平成23年度の第5期京都市民長寿すこやかプラン」策定に当たっての基礎資料とするため、高齢者及び若年者を対象として無作為抽出調査を実施し、高齢者の生活実態や動向、介護ニーズ及び若年者の高齢者問題に関する意識を把握する。</p>
<p>介護相談員派遣等事業</p> <p>【充実】</p> <p><2,794千円></p>	<p>介護サービスに関する苦情に至る事態を事前に防止する役割等を担う介護相談員について、新たに現任者研修を実施することにより、介護相談員の一層のスキルアップを図る。</p>
<p>介護給付費適正化事業</p> <p><13,420千円></p>	<p>介護保険制度を安定的に運営していくため、適正な執行の確保が極めて重要であることから、以下の事業を引き続き推進していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 認定調査状況チェック ○ ケアプランの点検 ○ 住宅改修等の点検（21年度に実施） ○ 医療情報との突合・縦覧点検 ○ 介護給付費通知

(6) 重点課題6：誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進

<取組方針>

すべての世代が理解し合い、助け合える世代間の連帯と活力に満ちた共生社会を形成していくため、さまざまな機会を活用して、高齢世代と若年世代とが交流し、世代間相互の理解を深められるよう取り組んでいきます。

また、高齢者が住み慣れた地域で、安心して自立した生活ができるよう、福祉施策と住宅施策やまちづくり政策が融合し、連携を更に深め、ハード・ソフトの両面から高齢者の生活環境づくりに取り組みます。

事業名等	内容
※	関係部局との連携により、既存事業を引き続き推進

3 介護保険事業特別会計予算の概要

(単位：千円)

項目	21年度当初予算額	22年度当初予算額	差引
保険給付費等	86,670,624	89,485,395	2,814,771
地域支援事業費	2,429,485	2,478,970	49,485
事務費その他	2,846,891	2,842,635	△4,256
合計	91,947,000	94,807,000	2,860,000

項目	21年度当初予算	22年度当初予算	差引
第1号被保険者数	325,429人	332,998人	7,569人
要介護認定者数	59,640人	61,062人	1,602人